

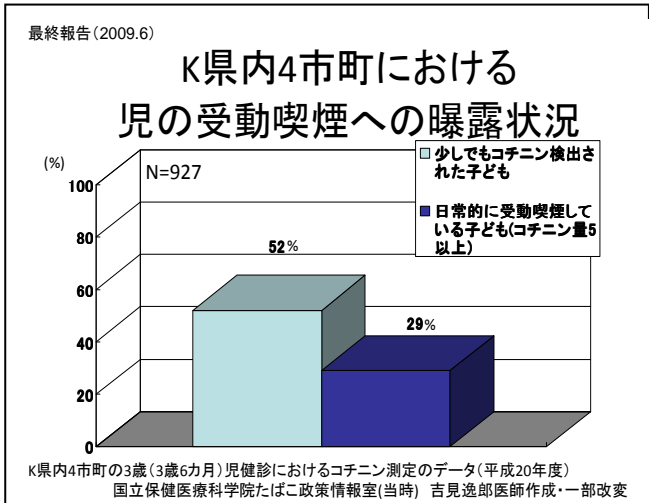
子どもたちをたばこの煙から守るために

○ 大人の吸うたばこの煙を子どもたちには吸わせない

2人に1人が受動喫煙していた

平成20年度、県内4ヶ所の市町村の3歳6ヶ月児健診で実施された調査*から、次の実態が判明しました。

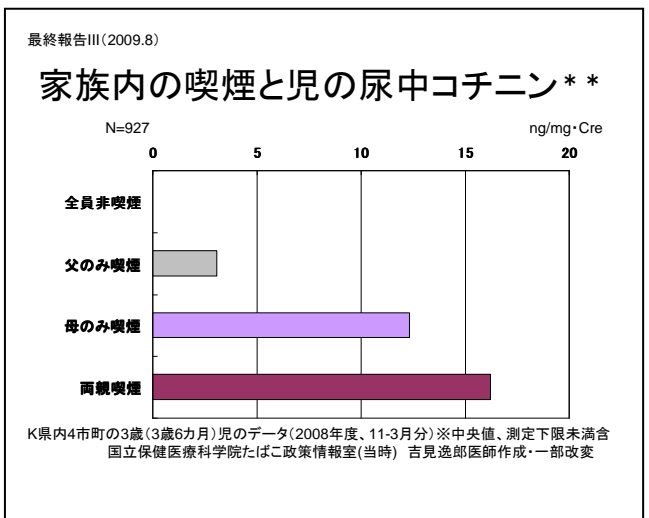
- ・ 52%が、受動喫煙していた
- ・ そのうちの約半数は日常的に受動喫煙していた



喫煙者のいる家庭の子どもからは、コチニンが検出され、受動喫煙していることが明らかです。

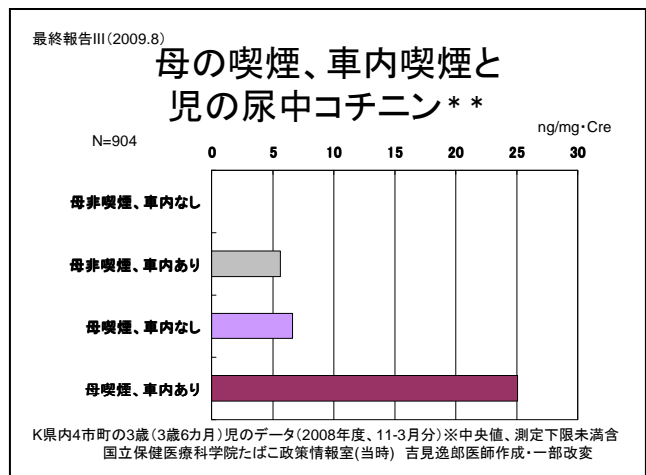
* 厚生労働科学研究がん臨床研究事業「がん予防に資する未成年等における包括的たばこ対策に関する研究」班の分担研究：吉見逸郎「3歳6ヶ月児尿中コチニン測定調査」

** ニコチンは体内でコチニンという物質に代わります。たばこを吸わない人の尿から微量でもコチニンが検出されたことは、受動喫煙しているということです。



マイカー内のたばこの煙は影響大

「母が喫煙者で、さらに車内で家族が喫煙している家庭」の子どもは、顕著に受動喫煙していました。



吸わない人が浴びる煙が恐ろしい ～主流煙より副流煙～

たばこの煙には、

4000種類以上の化学物質
約200種類の有害物質
約70種類の発がん物質

などが、含まれています。

そして、喫煙者が吸う「主流煙」と、
たばこの先からでる「副流煙」、

喫煙者が吐き出す「呼出煙こしゅつえん」があります。

受動喫煙とは、「副流煙」や「呼出煙」を浴びることを
いいます。

副流煙には、主流煙の2倍～4.6倍の有害物質が含まれます。



ニコチン 2.8倍
一酸化炭素 4.7倍
タール 3.4倍
アンモニア 46.0倍

子どもたちを守るために！

ポイントは3つ！

★室内での喫煙は避ける！

ポイント：換気扇の下で吸っても、たばこの煙は部屋中に広がります。
家の中では吸わないことが大事です

★車内での喫煙は避ける！

ポイント：たばこの煙の濃度が高くなり、また窓をあけても換気
時間がかかり、長時間、たばこの煙の影響が残ります

★受動喫煙の恐れのない場所を選ぶ！

ポイント：お店の禁煙マークは参考になります。
学校などの子どもの通う施設のそばで路上喫煙しないマナーも大事です。

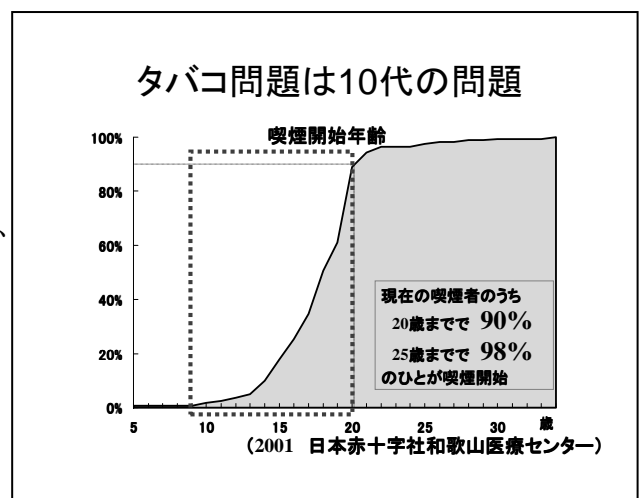


吸わない大人に育てよう

喫煙者の90%は、20歳までに吸い始めた人が
習慣化につながっています。

たばこの煙は子どもに悪影響を及ぼすとともに、
低年齢で吸い始めるほどニコチン依存になりやすく、
やめられなくなります。

喫煙に興味を持つ前に、喫煙の誘惑に負けない
心を育てるように、周囲の大人が伝えていくこと
が大切です。



当所では、未成年者に対する喫煙防止・受動喫煙防止の講話なども実施していますので、
ご相談ください。

問い合わせ先 046-224-1111 内線3220 (保健福祉課)